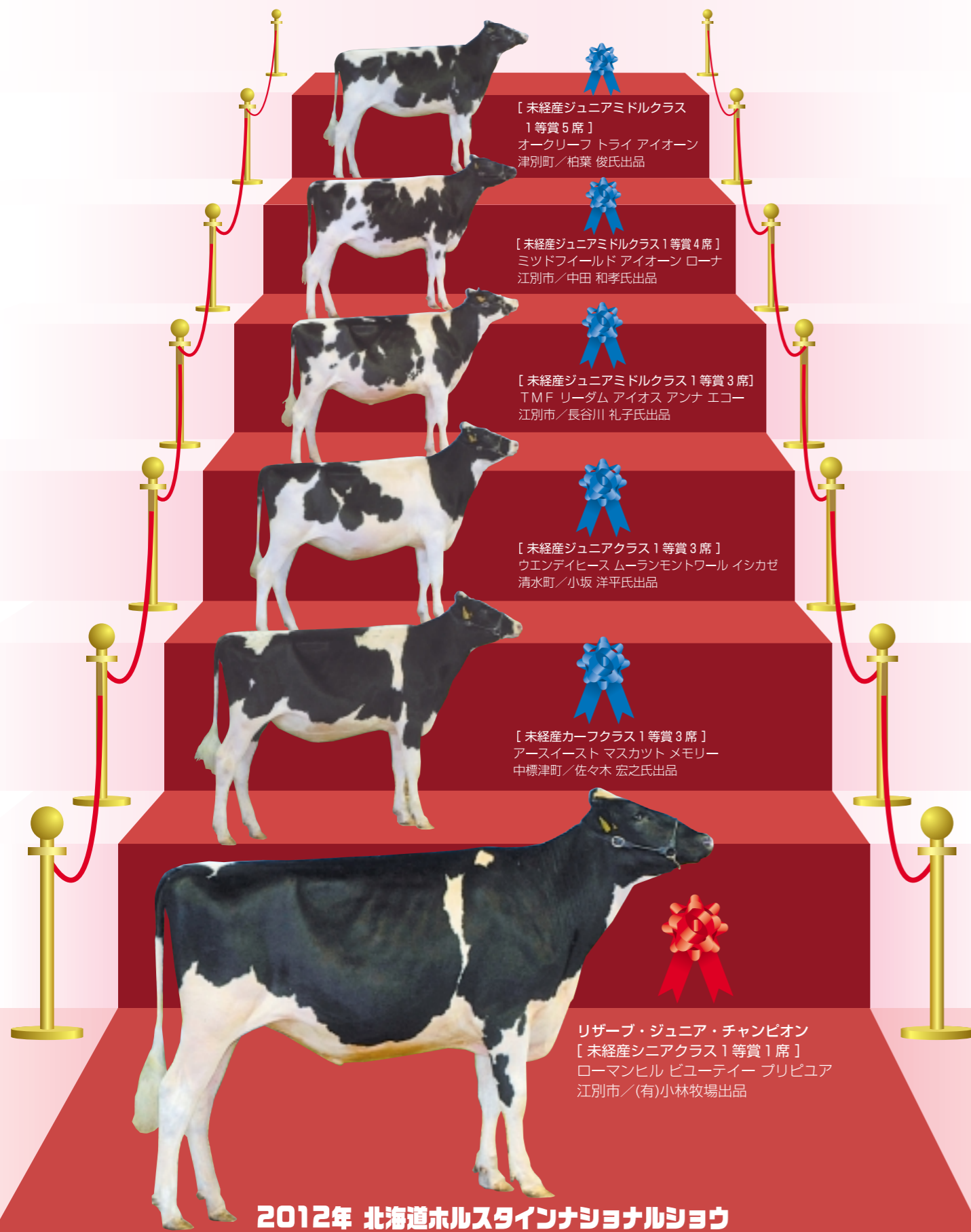


Sire

サイア

Vol.397

11月号



【未経産ジュニアミドルクラス
1等賞5席】
オークリーフ トライ アイオーン
津別町／柏葉 俊氏出品

【未経産ジュニアミドルクラス1等賞4席】
ミッドフィールド アイオーン ローナ
江別市／中田 和孝氏出品

【未経産ジュニアミドルクラス1等賞3席】
TMF リーダム アイオス アンナ エコー
江別市／長谷川 礼子氏出品

【未経産ジュニアクラス1等賞3席】
ウエンディヒース ムーランモントワール イシカゼ
清水町／小坂 洋平氏出品

【未経産カーフクラス1等賞3席】
アースイースト マスカット メモリー
中標津町／佐々木 宏之氏出品

リザーブ・ジュニア・チャンピオン
【未経産シニアクラス1等賞1席】
ローマンヒル ビューティー プリビュア
江別市／(有)小林牧場出品

2012年 北海道ホルスタインナショナルショウ

JPBH53584 ミッドフィールド CCM アイオーン娘牛上位入賞牛



「17才の牛」画：富田 美穂 ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

CONTENTS

- 2 現場レポート(乳) 深川市の新たな担い手事業「アグリサポート事業」
- 4 2012年 北海道ホルスタインナショナルショウ開催
- 6 NAAB／人工授精と繁殖に関する技術会議に参加して
- 8 注目のカウファミリー 第9回 C エイトキンブレイ スターバツク アダ EX-94
- 10 交配相談サービス実施レポート
- 12 第9回 GH枝肉共励会
- 14 第9回 GH枝肉共励会／ET講習会合格者
- 15 JB-3「福富」を偲んで…

深川市の新たな担い手事業

「アグリサポート事業」

～畜産振興の取り組み～

昨今の農業問題の中でよく耳にするのが、高齢化・後継者不足・新規就農への難しさ等があります。今回は農地等の確保が難しく、高額な農業機械の購入資金も壁になることの多い新規就農へ向けてサポートを行っている深川市のアグリサポート事業とその卒業生についてご紹介いたします。



住宅街の中にあるアグリサポート事業の畑①

深川市の農業概況

深川市の酪農情勢は1993年には30戸1120頭の規模がありました。2012年2月現在、7戸693頭です。約20年の間に戸数は三分の一以下、頭数も4割減にまでなっていました。また、この地域は稲作・畑作地帯でもあるので、農作物の生産量が全国第二位のそばをはじめ、北海道第一位の胡瓜、北海道第三位のお米等があり、兼業として水稻等を扱っている方が多くおります。

深川市アグリサポート事業とは

深川市の農業を取り巻く環境も、担い手の減少や後継者不足・高齢化の進行など非常に厳しい状況にあり、担い手の確保・育成を図るため新規就農希望者を雇用し、公社へ業務委託をして就農研修等を行い就農へ向けてサポートを行っています。また、

遊休農地化の防止を図るため当該農地を借り上げ、生産性を高めることも目的としています。

●主な業務

- ・農業の担い手(新規就農者等)、農業従事者の育成にかかる業務
- ・農用地の保全にかかる業務
- ・農作業の受託にかかる業務(畜産含む農作業全般)
- ・農産物の生産を通して、市民との交流にかかる業務
- ・農産加工品の研究開発に関する業務



住宅街の中にあるアグリサポート事業の畑②

事業の流れ

深川市役所から農業に対してやる気のある人へ、ハローワーク窓口や北海道農業担い手育成センターでアグリサポート事業の参加を募集します。その後面接を経てアグリサポート事業の一員となります。一番の採用条件は『やる気!!』。水田・花き・畜産等

の農作業のサポートや農地保全として借り上げた直営農場での農作業を通じて自らの進みたい分野を決め、専属的にその分野の業務を行っていきます。その後、サポート作業受け入れ農家さんと共に深い知識と技術を身につけていくというものです。また、作業に必要な免許等の取得もしっかりサポートされており、新規就農へ向けての強い後押しとなっています。

平成21年7月より開始したアグリサポート事業は現在5名の新規就農希望者を雇用し、1名が卒業しております。この第一号卒業生は畜産への道を選んだと聞き、その思いを伺ってきました。

アグリサポート事業 卒業生 第1号 西原正樹さん(33歳)



西原正樹さん

西原さんは深川市出身で、前職は茨城県で洋服屋をしていました。その後、農業をしてみたいと思い帰郷し

平成21年7月にアグリサポートと出会いました。今夏までおよそ2年半の間サポート業務等を経て、現在深川市 大森牧場の従業員として働いています。

大森牧場は搾乳48頭、乾乳6頭、育成10頭、子牛5頭の計69頭(10月現在)で、朝夕の二回搾乳(牛群平均乳量は10300キロ/年)。兼業として12町歩の田んぼで水稻も作っており、ご家族4名と西原さんの5名で行っています。西原さんは、朝5時から搾乳作業・牛舎の清掃・給餌を行い、昼休憩をはさみ夕方の搾乳作業を終え18時半頃帰宅しています。春先の田植えの時期には田植え作業の補助も行っています。

Q:西原さんはどのようなサポート業務を経験してきましたか?

A:1年目は稲作や花き、畜産等色々なサポート業務を経験しました。夏は畑仕事等、土づくりから始め、作物を育てたりしました。また、この地域には酪農ヘルパー等もなく、サポート業務として畑作業のできない冬の時期に、搾乳等で牛に触れる機会がありました。その後は通常のサポート業務の他に酪農業の依頼があった時は必ず私に話がかかるようになりました。

Q:なぜ、多くの業務がある中で酪農を選ばれたのですか?

A:最初は農業というものを何も知らなかったため、アグリサポート事業に参加したら色々な農業に触れることが出来ると思い参加しました。色々なサポート業務をする中で単純に牛が『可愛かった』というのが一番の理由ですね。酪農は、においがきつく、牛が大きくて怖いイメージでした。でも、実際接してみても気にならなく、想像以上に『可愛かった』というのは体験してみないと分からなかったで

すね。

Q:アグリサポート事業を体験してみて今後どのような方に利用してもらいたいですか?

A:とにかく農業をやってみたいという『やる気!!』のある方がいいですね。農業ということがわからなくても『やる気!!』があれば強い後押し(サポート)があるので、やりたいことも見つかると思います。

Q:今後はどのように酪農業をしていきたいですか?

A:まだまだ勉強中なのでしばらくは大森牧場さんの従業員として勉強し、新規就農や共同経営という話になっていければ良いと思います。

Q:そういえば、空知管内畜産共進会で牛をリードしていましたよね?

A:そうなんです(笑)。北空知からは共進会への出品が20数年ぶりだったようでリードした仔牛はいつも落ち着き払った仔牛であまり歩いてくれないのですが、会場の雰囲気のおかげもあり当日は元気に歩いてくれました。大股すぎる!って怒られましたけど(笑)、それでも初めての共進会は楽しかったです。



ノースクロバー ビックフォレスト アイオーン ミルをリードする西原さん

空知管内畜産共進会

事業の受け入れ農家として (大森牧場 大森 毅英さん)

兼業で行っている水稻の田植え・収穫の時期になると多忙のため牛舎



大森牧場牛舎

作業まで手が回らないことがありました。さらにはこの地域にはヘルパーがいないので、病気や怪我をしまうと牛舎業務が滞ってしまい酪農等につながってしまいます。アグリサポート事業のようなサポート業務をしてくれるところがあるので、安心して酪農が出来るようになりました。西原さんにはこれからも牛舎作業の中核として支えてもらいたいです。アグリサポート事業には、西原さんと出会うきっかけを作ってもらいとても感謝しています。酪農・畜産の明るい未来のために、新規就農もそうですが、後継者対策として今後とも地域をサポートしてくれることを願います。

深川市を取り巻く担い手不足は他の地域でも深刻な問題となって

おり、各地域でも地域振興を念頭に置いた様々な事業が行われています。今後の農業全体の振興・発展を願ひまして今回の紹介とさせていただきます。

大変お忙しい中、快く取材に協力していただいた深川市役

所農政課 課長補佐 野さん、大森さん、西原さんに心より感謝いたします。今後の更なる御活躍をお祈り申し上げます。

(道央広域事業所 澁川 航八)

2012年 北海道ホルスタインインターナショナルショウ開催

～活躍著しいGHサイア達～



9月22日から23日にかけて、北海道勇払郡安平町の北海道ホルスタイン共進会場で北海道ホルスタインインターナショナルショウが開催され、ホルスタイン種385頭(内ジュニアカップ41頭)、ジャージー種31頭が日々の乳牛改良の成果を競い合いました。

審査員を務めたのは大樹町の酪農家木村博文氏で、アソシエイト審査員が岩見沢市の酪農家瀬能剛氏、リードマンコンテストとジュニアカップ・ジャッジが音別町の酪農家成田純哉氏でした。



当団種雄牛では、春先より各地のB&Wショウで上位入賞していたJP3H53584 ミッドフィールド CCM アイオンの娘牛が38頭出場し6頭が1等賞入賞、その中でも江別市の(有)小林牧場出品の「ローマンヒル ビューティー プリピュア」号が未経産シニアクラス1等賞

1席、さらにリザーブ・ジュニア・チャンピオンに輝きました。

その他、インターミディエイト・チャンピオン(後代検定娘牛3歳クラス1等賞1席)にJP3H54233 ノリツタ エアロスター リードマン ETの娘牛で帯広市の村上敦俊氏出品の「ドリームフィールド リードマン マタドーア」号、リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン(シニア2歳クラス1等賞1席)にJP3H53364 ハピイーストアール エス テンプター ET娘牛で清水町の(有)田中牧場出品の「クリーン HL テンプター」号が輝くなど、当団種雄牛娘達の活躍が光りました。



各チャンピオン牛は以下とおり。カッコ内は父と出品者(敬称略)。

■ホルスタイン種

【グラント・チャンピオン&シニア・チャンピオン】
ハツピーグロリー ダンディーエターナル ET(レーガンクレスト ダンディー ET/熊谷肇 上士幌町)
【リザーブ・グラント・チャンピオン&リザーブ・シニア・チャンピオン】
エツセンス ダーハム レクサス アポロ

ET(レーガンクレストエルトン ダーハム ET/栗城一貴 豊富町)



【インターミディエイト・チャンピオン】
ドリームフィールド リードマン マタドーア(ノリツタ エアロスター リードマン ET/村上敦俊 帯広市)
【リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン】
クリーン HL テンプター(ハピイーストアールエス テンプター ET/(有)田中牧場 清水町)

【ジュニア・チャンピオン】
TMF ゴールド ビスタ(プレイテール ゴールドウイン/(有)田中牧場 清水町)
【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】
ローマンヒル ビューティー プリピュア(ミッドフィールド CCM アイオン/(有)小林牧場 江別市)



■ジャージー種
【ジュニア・チャンピオン】
アサナベ IT フォング デザイア

(SC ゴールド ダスト パラマウント イアトーラ ET/佐藤 孝一 広尾町)
【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】
ケニフロウ ミスター デザイナー(スイトン JW ミスター チーフ ET/高田泰輔 鹿追町)
【シニア・チャンピオン】
ピードモント マーサ ドリア ET(ラビソド ベイリシユアクション ET/川崎 正幸 広尾町)
【リザーブ・シニア・チャンピオン】
アサナベ IT ルイス スピンドル(SC ゴールド ダスト パラマウント

イアトーラ ET/(有)田中牧場 清水町)
今回、酪農後継者の育成を目的に、乳牛改良の基礎知識習得と出品技術・マナーの向上を期して20歳以下の若者を対象としたホルスタインジュニアカップが初めて開催され、41人の若者が出場し会場を大いに賑わせました。

■ジュニアカップ

【チャンピオン】
アマダ プレリ GR メアリー(UF M-ダブス ゴールドロイ ET/

菅野晃寛 陸別町、所有:(有)編田牧場 陸別町)

【リザーブ・チャンピオン】
ロイヤルクイーン アツトウツド リンダーチャン(メープルタウンズアイ GW アツトウツド ET/能城薫 訓子府町、稲辺文男 訓子府町)



(業務部 若原 亮)

「JP3H53584 ミッドフィールド CCM アイオン」を「プレミアサイア」(注)として表彰

2012年北海道ホルスタインインターナショナルショウにて「アイオン」の娘牛が最多出場(38頭)し、さらに上位入賞を果たしました(1等賞8頭、2等賞16頭、3等賞14頭)。

当団はこの功績を「プレミアサイア」(最優秀種雄牛)と称し、国産種雄牛の代表として我が国の乳牛改良に著しく貢献していることから、当団報奨規程に基づき「アイオン」の繁殖者である江別市 中田 和孝氏に賞状および副賞を授与しました。

(注) 当団規程による表彰項目です。

■JP3H53584 ミッドフィールド CCM アイオン



左: 当団 松尾 専務 右: 中田 和孝さん

NAAB人工授精と繁殖に関する技術会議に参加して

平成24年9月20～21日の2日間、第24回NAAB人工授精と繁殖に関する技術会議に参加してきましたのでご紹介致します。

私が訪れた時、アメリカ・ウィスコンシン州では紅葉がすでに始まっていました。十勝から出発する時、北海道は最高気温がまだ30℃を超えて残暑が厳しく、半袖だった私は今年の北海道の夏が特別暑かったことに改めて気づかされました。ウィスコンシン州では昼間は20℃近く上がるものの、夜は最低気温が10℃以下まで下がることも度々でした。丁度デントコーン、大豆の収穫の真最中でした。ニュースでは、今年アメリカは大旱魃により大打撃を受けていると聞いていたのですが、ウィスコンシンは適度な雨が降り、例年並みの収穫が期待出来そうでした。



デントコーンの収穫

NAAB(National Association Animal Breeders)は1946年にアメリカの遺伝資源向上・拡販のために結成された人工授精事業体の業界団体です。アメリカ国内の授精所約20社が正会員となっています。2年に一度開かれる技術会議では各社の職員が集まって情報交換を行なうと共に、精液生産、家畜繁殖等の研究者を招いて最新の情報を学び合っています。アメリカ以外にも日本を含め、カナダ、

イタリア、フランス、スウェーデン、ニュージーランドの授精所も会員として参加していました。今回の講演内容を幾つか抜粋してご紹介致します。



技術会議講演風景



休憩会場風景

今回の講演の中心的な内容は、これまでのアメリカの人工授精の歴史を振り返ること、そして精液性状の検査方法を改めて基礎から見直すという二点でした。

アメリカの人工授精の歴史については、古くからこれに貢献している

Bob Walton氏とRichard Saacke氏を招き、時代背景を踏まえて詳しく説明していました。アメリカの授精所でも年代層が若くなっているのを、



本会議受賞者表彰式を踏まえた昼食会風景

改めて現在の技術に至った経緯まで十分に知る機会をつくるという意味で開いた講演でした。

アメリカの人工授精産業の発展は、以下の出来事によるものである。

■1914年 —————
人工膺による精液採取法の開発

- 1930年代 —————
アメリカで最初の人工授精の成功
- 1936年 —————
現在の授精方法である直腸膺法の開発(それまでは膺鏡を併用した授精方法を使用していた)
- 1940年 —————
液状精液の希釈、冷却方法の開発
- 1940～1950年代 —————
希釈液の開発
- 1950年代 —————
アルコールとドライアイスによる精液凍結法の開発
- 1950年代後半 —————
後代検定事業の導入
- 1960年代 —————
国外から多くの新たな品種の導入
- 1960～1990年代 —————
液体窒素による精液凍結保存法の開発
- 近年 —————
雌雄分離精液の開発、ゲノム評価の導入

NAABではアメリカにおける乳牛の受胎率低下に対して、前回より精液生産現場からの取り組みとしての講習会を開催しています。今回は精液性状検査の手順、検査方法、検査機器について、各団体によって精液性状検査方法には若干の差があり、各々の代表者が集まって話し合い、標準と検査手順をまとめた後に、本会議で実技を交えた講習会が行われました。100名近い参加者で、実際の検査機器に触れながら、熱心な質疑応答が交わされ大盛況でした。①精液量と精子濃度の測定方法、②精子活力の測定方法、③顕微鏡操作方法と精子形態検査、の3セクションに分かれ、各検査に精通した会員団体職員、大学教授により事細かな説明がなされ

ました。検査方法に差は殆ど見られなかったのですが、改めて振り返り考えるにはとても良い機会だと感じました。



実演風景

その他の興味深かった講演についてご紹介致します。

【雄の応用内分泌学】

(Jim Graham氏、コロラド州立大学)
雄牛の内分泌の基礎的な内容から、雄牛へのホルモン製剤投与によってどのような反応が期待されるか説明していました。プロジェステロン製剤は精巣上体の平滑筋を収縮させる作用があり、採精20分前に投与することで射出精液量は増加するが、造精機能への作用は期待出来ない。GnRH製剤は成牛での大きな作用は期待出来ないこと、また、採精直前の投与では性成熟期以降の雄牛に効果が期待出来ない可能性があるという内容でした。

【オジロジカの精液採取:方法と経緯】

(Earl Souva氏、Great Lakes Sire Service)
アメリカでは娯楽としてのハンティングを目的とした鹿を養う農場も多く、人工授精の需要も年々高まっているようです。この発表者はミシガン州でウシとシカの授精所を開設しており、シカについては精液採取と人工授精を行っています。年間約

150頭の精液採取を行っており、採取方法は全て吸入麻酔下で電気採精で行っているそうです。凍結方法はウシと同様であり、ストローに封入し液体窒素で保管しています。また、シカでもCIDRとPMSGによる同期化法を使うこともあるそうです。また、雄を選択的に生産するため雌雄分離精液も活用しており、雄の産出率は94%と良好だそうです。

【イタリアにおける乳用水牛産業】

(Giuseppe Campanile氏、ナポリ大学)
イタリアでは1947年1万頭強だった水牛が1950年代以降年々増加し、現在では38万頭に達しているそうです。その理由として、イタリアのチーズ消費量はとて多く、その中でもピザやサラダで頻用されているモッツアレラチーズの最高級品は水牛の牛乳からつくられているそうです。水牛の平均年間泌乳量は2200kgと少なく、飼養頭数だけで補うのではなく、乳量の改良も求められているそうです。また、水牛は季節繁殖動物であり、マーケットがチーズを求める時期の夏場には乾乳の時期が短く、産乳量が減少する。このため、産乳量を増やすために、人工授精、MOET、IVFなどの繁殖技術を取り入れています。さらなる技術改善が必要となっているようです。

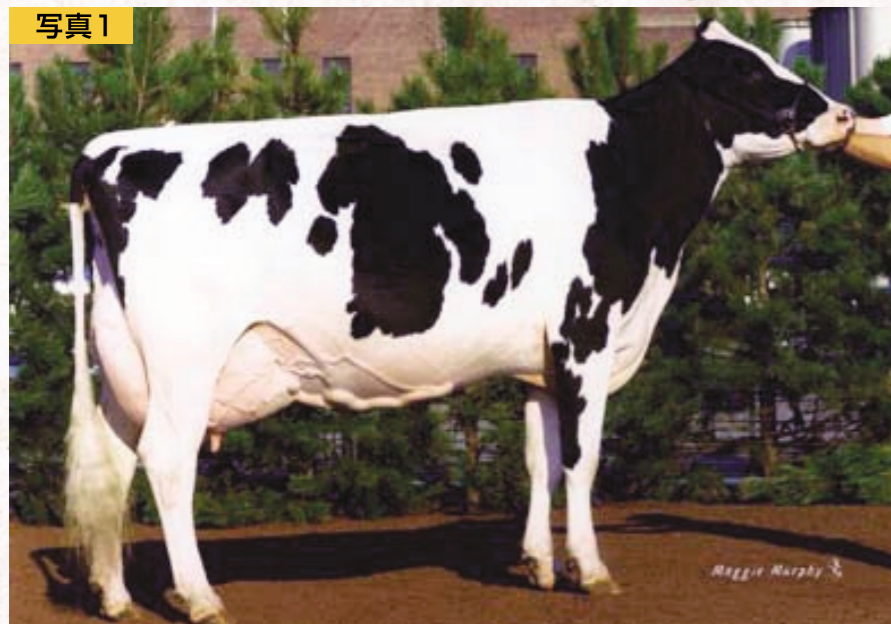
最後に、ウィスコンシン州という酪農大国アメリカの中心地で雄牛の繁殖に関する最新の情報に触れ、時差ボケの眠気も吹き飛ばす内容の濃い二日間でした。

(十勝清水種雄牛センター 伊藤 陽輔)

第9回

系統図

C エイトキンブレイ スターバツク アダ EX-94



今回紹介するカウファミリーは、今日の世界の体型改良をリードするファミリー“C エイトキンブレイ スターバツク・アダ”ファミリーです。アダファミリーは、体型における遺伝能力が極めて高く、北米での体型指数も高く評価され、世界でも屈指の人気を誇っており、日本へも数多くの受精卵が導入されています。

アダ【写真1】は、1986年9月13日にカナダ オンタリオ州・エイトキンブレイ牧場で誕生しました。1989年にアメリカへ移動し、その年のマジソンでショウデビューし、2歳シニアクラスで3位になりました。この時のクラスの1位はデユバスクワイア スターブ ウィニー、2位にコムスター ローリー シークでした。この年の12月にゲイツ&キングステツド牧場がアダを購入し、翌年のマジソンでは3歳シニアクラス1位、そして同年のオールアメリカンに輝きました。彼女には2頭のスカイチーフによる代表娘牛があり、1頭はシヨアマ

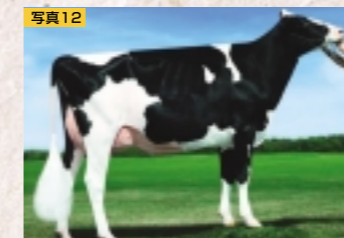
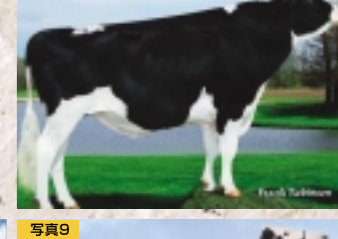
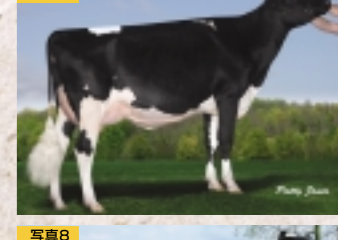
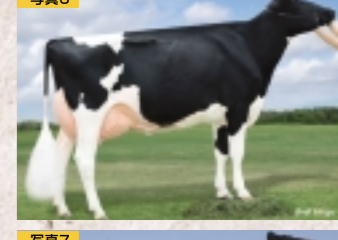
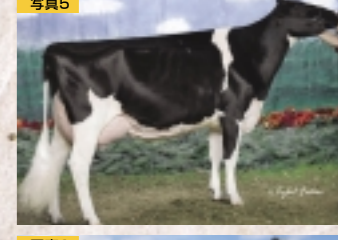
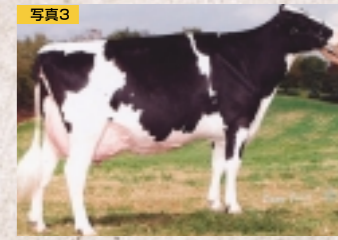
ー S アリシア ET【写真2】です。現在、北米には35頭の97点(最高得点)を獲得したホルスタイン種があり、アリシアはその中の1頭でもあります。オールアメリカン2回、オールカナディアン3回と2000年のロイヤルウインターフェアのチャンピオン、さらに数多くのエクセレント娘牛を輩出し、今日の北米のセールカタログにおいてもこのアリシアの写真が多く使われています。もう1頭のスカイチーフ娘牛MS キングステツド チーフ アデイン ET【写真3】は、アリシア以上のエクセレント娘牛を輩出し、今日の乳牛改良に大きく貢献した牛の1頭とも言われています。代表娘牛には、2003年2歳ジュニアでオールアメリカンに輝いたアムラーダ リー アリス ET【写真10】、2012年のワールドデーリエキスポで2歳ジュニアクラス1位になったBVK アトウツド アリアナ ET【写真12】、そして我が国において今年5月に行われた北海道

B & Wショウでグランドチャンピオンに輝いたTMF アデイン ダンデイ チーフ ET【写真11】(清水町(有)田中牧場所有)など数多くのショウカウが輩出されています。アデインの知名度を再び持ち上げたのが、2005年のワールドデーリエキスポでリザーブインターミディエイトチャンピオンになったMD-デライト ダーナム アトリー ET【写真5】です。アトリーはアデインの孫娘に当たり、現在の検定済み種雄牛の中で体型指数が第1位(+4.16)のメープルダウンスアイ G W アトウツド ET【写真8】の母でもあります。

このアトリーからの流れは、今日のジェノミック評価においても体型遺伝能力が高く評価されており、加えて能力面においても安定した遺伝能力であることが証明されています。アトリーのゴールドウインによる娘牛は北米に6頭おり、全て87点以上を獲得しています。中でもカナダ オンタリオ州・ベルサス牧場のオーリンデール I ゴールドウイン アルバニー ET【写真7】からのマンオーマンによる娘牛は10数頭おり、体型・能力の両面の評価成績が高く注目されているエリートカウです。また、アトリーのシヨツテルによる娘牛MS アトリーズ シヨツテル オーブリー ET【写真9】からもジェノミック評価の高い子孫が多く輩出されており、数頭の息牛がA Iセンターで待機しています。

アダやスカイチーフによる姉妹を根源とするこのファミリーは次世代へも引き継がれ、今後もエリート好体型ファミリーとして世界中より一層注目されるものと思われます。

- ♀ C エイトキンブレイ スターバツク アダ EX-94 (S:スターバツク)【写真1】
- ♀ シヨアマ S アリシア ET EX-97 (S:スカイチーフ)【写真2】
- ♀ シティビュー アール アリシア ET EX-92 (S:ルドルフ)
- ♀ BKB アレクシス リー ET EX-91 (S:リー)
- ♀ BKB アリス ET EX-90 (S:ダーナム)
- ♀ BKB アビーET EX-95 (S:ダーナム)
- ♀ BKB アマンダ ET EX-92 (S:ダーナム)
- ♀ MS キングステツド チーフ アデイン ET EX-94 (S:スカイチーフ)【写真3】
- ♀ MD-デライト ストーム アデリン ET VG-88 (S:ストーム)
- ♀ MS MMD ノーベル アルバ EX-94 (S:ノーベル)
- ♀ MD-メープルデル ゴールド エイリー ET VG-85 (S:ゴールドウイン)
- ♂ ミスター リーゲルクリーク ショツト アル ET (S:シヨツテル)
- ♂ ミスター リーゲルクリーク ショツト アラン ET (S:シヨツテル)
- ♀ MD-デライト STRM アンバーリー ET VG-88 (S:ストーム)【写真4】
- ♀ MD-デライト ダーナム アトリー ET EX-92 (S:ダーナム)【写真5】
- ♀ ラフオスター アダム アーリン ET VG-86 (S:アダム)
- ♀ アップルイス バツカイ アダ ET VG-88 (S:バツクアイ)
- ♀ ファーニアー ショツト オブ アデイン ET VG-87 (S:シヨツテル)
- ♀ エムエス アトリーズ ゴールド アビゲール ET EX-91 (S:ゴールドウイン)
- ♀ ホイツティアフアームス アンジェリーナ ET VG-88 (S:ピツクタイム)
- ♀ エムエス アトリーズ ゴールドウイン アリエル ET EX-92 (S:ゴールドウイン)【写真6】
- ♀ オーリンデール I ゴールドウイン アベリー ET VG-87 (S:ゴールドウイン)
- ♀ オーリンデール I ゴールドウイン アバ ET VG-88 (S:ゴールドウイン)
- ♀ オーリンデール I ゴールドウイン アリスタ ET VG-88 (S:ゴールドウイン)
- ♀ オーリンデール I ゴールドウイン アルバニー ET VG-87 (S:ゴールドウイン)【写真7】
- ♂ メープルダウンスアイ G W アトウツド ET EX-90 (S:ゴールドウイン)【写真8】
- ♂ MS アトリーズ SHT アフターシヨツク ET (S:シヨツテル)
- ♀ MS アトリーズ シヨツテル オーブリー ET VG-88 (S:シヨツテル)【写真9】
- ♀ アムラーダ リー アリス ET EX-94 (S:リー)【写真10】
- ♀ TMF アデイン ダンデイー チーフ ET VG-88 (S:ダンデイ)【写真11】
- ♀ BVK アトウツド アリアナ ET VG-89 (S:アトウツド)【写真12】



交配相談サービス実施レポート

中札内村：堀江敏男牧場 ～交配相談を活用した丈夫な牛づくり～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、1頭の雌牛に対して改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されることが特徴です。

今回は、河西郡中札内村の堀江敏男牧場で授精を担当している後継者の堀江敏之さんに交配相談サービスを始めるきっかけと交配相談を利用してどんな牛づくりのビジョンを持っているかを伺いましたのでご紹介いたします。

河西郡中札内村は、十勝の中心都市帯広市からおよそ28キロ、帯広空港から車で10分くらいに位置し、日高山脈の裾野に広がる農村地帯です。清流札内川が村を縦断し、平野部は耕地防風林で囲まれ十勝の自然を象徴しています。

村名の語源は、アイヌ語で『乾いた川』を意味するサチナイと札内川の中流に位置するという意味から成っています。

中札内村HP: <http://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/>



堀江牧場について概況を教えてください。



当牧場は、フリーストールで飼養し6頭ダブルのミルクパーラーで搾乳する形態です。総頭数は200頭で搾乳牛は100頭です。1頭あたりの検定成績は、乳量9,845kg、乳脂率3.99%、乳タンパク率3.27%、SNF率8.81%です。

平成23年度の出荷乳量は1,100tでした。牛群の平均産次数は2.1産、授精回数は2.3回です。

どのようなきっかけで交配相談を始めたのですか？

ジェネティクス北海道が配布していた交配相談パンフレットを見たことがきっかけです。また、『無料で始められる』ことも利用する後押しとなりました。

交配相談の結果表をどのように利用していますか？

結果表を参考に授精に供する種雄牛を決めています。現在の産乳能力を維持して、長命

連産性の高い牛づくりをするために、改良目標を第1形質「乳器」、第2形質「肢蹄」としています。

交配相談を利用するメリットはどのような点でしょうか？

交配相談を始めて3年になる堀江さんに交配相談を利用して得た3つのメリットを挙げて頂きました。

メリット1 『授精に供する種雄牛選択の効率化』

規模の拡大が進み飼養頭数が増加すると、一度に授精する頭数も増えて、種雄牛を選択する作業が煩雑になります。交配相談を利用することで、結果表を参考に手早く種雄牛が決める

れ、授精業務がスムーズに進められるようになりました。

メリット2 『牛群と改良目標に適した種雄牛を事前に知ることが出来る』

交配相談のプログラムには当団繋養牛の他に、国内と海外の500頭の種雄牛の情報が含まれています。この情報を利用してプログラム上でシミュレーションすることで、どの種雄牛が改良目標に沿った牛づくりを進めてくれるかを事前に知ることが出来ます。

メリット3 『近交係数の急上昇を抑制出来る』

近交係数上昇の抑制に対しても交配相談を利用するメリットが得られると思います。交配相談のプログラムは、近交係数の上限値を設定すると、それよりも高くなる組み合わせは結果表に出力されません。このため近交係数を気にすることなく牛づくりに専念することができると思います(当団は6.25%を上限値として推奨しています)。

堀江牧場の近交係数は、交配相談を開始した当初(2009年)は6.02%でしたが、徐々に低下して2012年は5.52%となっており(北海道の平均は5.56%)、交配相談による効果が表れています。

交配相談サービスに一言お願いします。

いつもA3判の結果表を出力してもらっていますが、持ち運びに便利なA4判の結果表も出力して下さい。

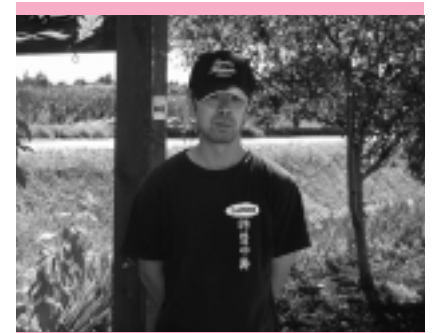
堀江牧場では、交配相談を利用して産乳能力と長命性のバランスがとれた牛づくりを行なっていることが今回の取材を通して知ることが出来ました。

交配相談による牛づくりの成果が表れるには長い時間を要するため継続することが大変重要となります。堀江牧場でも交配相談を始めて3年が経ってその効果が徐々に表れてきましたが、牛群が改良目標にさらに近づくために、これからも交配相談

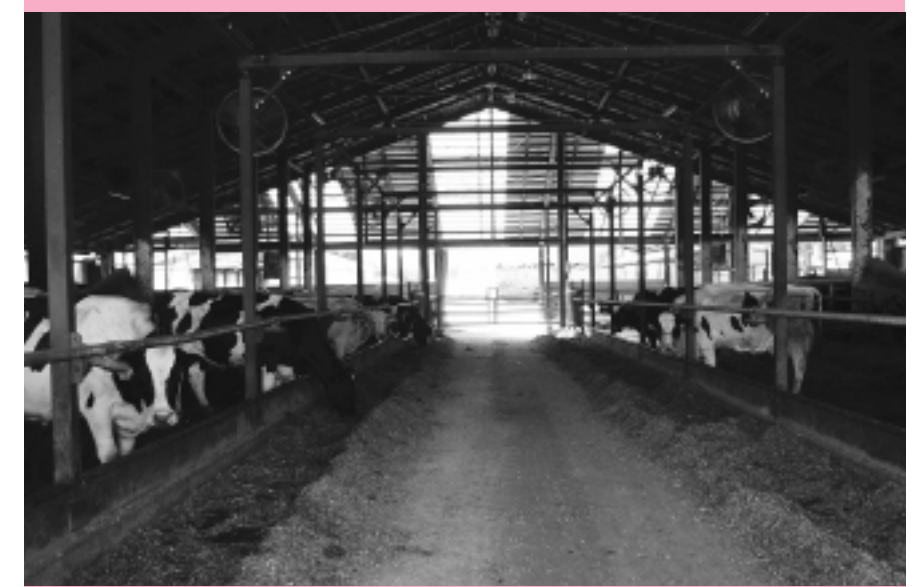
を通して改良のお手伝いをさせていただきます。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた堀江敏之さんに感謝いたします。

今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えております。



お話を伺った後継者で授精担当の堀江敏之さん



堀江牧場のフリーストール牛舎

北海道限定 ジェネティクス北海道交配相談サービス

**作業効率の高い牛群づくり!
ニーズに合わせた種雄牛を選択!
近交係数と遺伝病の発症率のコントロール!**

詳しくはお近くの事業所または改良部までご連絡ください。

第9回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

去る、平成24年10月6日に第9回当団黒毛和種枝肉共励会が、
過去最高の112頭(一般の部71頭、後代検定の部41頭)
が出品され盛大に開催されました。

名誉賞

栄えある【名誉賞】に輝いたのは、後代検定の部に出品された賀集昭知さん(平取町)出品の『錦百合101』号でした。H黒-178「幹壺」×「安福165の9」×「平茂勝」の血統構成で、枝肉重量539kg、胸最長筋面積80cm²、ばらの厚さ10.0cm、皮下脂肪2.3cmでした。体型の良い厚みのある枝肉で、切開面は名誉賞にふさわしい迫力がありました。歩留基準値は77.7と高く、BMS No.は今回最高の12番、肉色4番で「A-5」等級に格付されました。

今回の名誉賞牛の父「幹壺」は父「北国茂」、母の父「平茂勝」、母の祖父「安福165の9」の血統構成による種雄牛です。母方は島根県を祖先とする「もとつば」の系統牛で、全道各地において長命性と高い繁殖能力により、繁栄しているファミリーです。本牛は第10回全国和牛能力共進会の第7区総合評価群の出品対象牛であり、この他後代検定の部の【優秀賞】にもなりました。

◆一般牛の部

この部には「北平安」産子が最多の45頭出品され、上物率は去勢牛28頭/33頭で84.8%、雌牛7頭/12頭で58.3%と非常に安定しており、特に

去勢は高い能力を示しました。枝肉重量(kg)は去勢467.9、雌406.3で、ロース芯面積(cm²)は去勢60.5、雌64.2で雌は全体平均を2.5cm²上回りました。BMS No.は去勢6.7、雌6.1で去勢、雌ともに全体平均を0.5上回るなど、「北平安」の安定した強い遺伝力をしっかりと現しております。

【最優秀賞】には大西孝幸さん(浦幌町)出品の「平千代」(去勢)(父「北平安」)が選出されました。ロース芯の脂肪交雑充分で、光沢良好な枝肉になっており、特にロース芯の形状が良くバラの厚さも8.4cmと厚く、名誉賞との比較では、枝肉の張りの点で惜しくも、最優秀賞となりました。

◆現場後代検定の部

この部は、将来の種雄牛候補である現場後代検定中の枝肉が出品される事で注目が集まります。

今回は「幹壺」「勝早桜5」「国牽安平」「富高福」の4頭産子が後代検定の部にエントリーされました。

【最優秀賞】には二瓶義則さん(幕別町)出品の「三夫」(去勢)(父「勝早桜5」)が選出されました。BMS No.12で、若干流れサシですが、細かく入っており胸最長筋面積も82cm²と大きく(今回最大)充分な脂肪交雑が見られ、光沢良く良好な肉質

でした。

【優良賞】も勝早桜5の去勢牛が獲得しました。「勝早桜5」は父「勝忠鶴」、母の父「安平」、母の祖父「隆桜」の血統構成で、検定材料牛頭数42頭中40頭の成績が判明しており、上物率75.0%と高い成績を残しています。特に去勢牛の上物率は79.2%と高く、雌の上物率も68.8%と安定しており、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さも高い能力を示しています。また、一般出荷牛でもBMS No.で2桁のものが報告されております。本共励会では15頭(去勢4頭、雌11頭)が出品し、上物率は去勢牛3頭/4頭で75.0%、雌6頭/11頭で54.5%と安定しており、特に去勢は高い能力を示しました。

共励会終了後に検定材料牛41頭全ての成績が判明し、産肉能力の指標とされる上物率は去勢牛で80%と非常に高い値を記録しており、全体でも78%と産肉能力の高さが実証されました。

検定材料牛の血統を見ると但馬系はもちろん、気高系、藤良系の繁殖牛とも相性が良い事から交配相手を選ばない使い勝手の良い種雄牛として今後の活躍が期待されます。

本共励会の開催にあたり、ご協力いただいた肥育農家・関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。



【上段(左より)】
優良賞(一般牛の部) 佐藤さん
優良賞(一般牛の部) 竹山さん
(写真はJAひろお職員代行)
優良賞(後代検定の部) 北海道立農業大学校
優良賞(後代検定の部) 蛸原さん

【下段(左より)】
優秀賞(一般牛の部) 庄司さん
最優秀賞(一般牛の部) 大西さん
名誉賞 賀集さん
最優秀賞(後代検定の部) 二瓶さん
優秀賞(後代検定の部) 寺山さん



名誉賞

H黒-178

も と つ ば
幹 壺

北国茂 × 平茂勝 × 安福165の9

- ◆ 母の父: 安福165の9
- ◆ 母の祖父: 平茂勝
- ◆ 肥育者: 平取町/賀集昭知氏
- ◆ 枝肉重量: 539kg
- ◆ ロース芯面積: 80cm²
- ◆ BMS No. 12
- ◆ 格付: A-5



去勢 28.9ヶ月齢
ホクレン十勝枝肉市場上場

H黒-80

北平安

一般牛の部

最優秀賞

- ◆ 母の父: 勝忠平
- ◆ 母の祖父: 金幸
- ◆ 肥育者: 浦幌町/大西孝幸氏
- ◆ 枝肉重量: 500kg
- ◆ ロース芯面積: 66cm²
- ◆ BMS No. 11
- ◆ 格付: A-5



去勢 28.8ヶ月齢
ホクレン十勝枝肉市場上場

H黒-187

勝早桜5

現場後代検定の部

最優秀賞

- ◆ 母の父: 谷福(事業団)
- ◆ 母の祖父: 糸光
- ◆ 肥育者: 幕別町/二瓶 義則氏
- ◆ 枝肉重量: 466kg
- ◆ ロース芯面積: 82cm²
- ◆ BMS No. 12
- ◆ 格付: A-5

第9回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞者一覧

	褒章	出品牛名号	父		母の父	母方祖父	性別	市町村名	月齢	格付	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	ばらの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留まり基準値(%)	BMS No.
			略号	名号												
一般牛の部	名誉賞	錦百合101	H黒-178	幹壺	安福165の9	平茂勝	去勢	平取町 賀集 昭知	27.2	A5	539	80	10.0	2.3	77.7	12
	最優秀賞	平千代	H黒-80	北平安	勝忠平	金幸	去勢	浦幌町 大西 孝幸	28.9	A5	500	66	8.4	1.8	75.7	11
	優秀賞	銘庄六花亭	H黒-80	北平安	北国茂	福栄	去勢	新冠町 庄司 敏	30.3	A5	492	73	7.6	1.3	76.6	10
	優良賞	松尾	H黒-80	北平安	平茂勝	安福165の9	去勢	広尾町 竹山 一夫	29.2	A5	455	54	7.5	1.6	74.3	9
	優良賞	まさみ	H黒-80	北平安	安糸福	茂重桜	雌	平取町 佐藤 貢	31.3	A5	375	76	7.5	1.8	78.0	9
現場後代検定の部	最優秀賞	三夫	H黒-187	勝早桜5	谷福(事業団)	糸光◆	去勢	幕別町 二瓶 義則	28.8	A5	466	82	7.5	1.6	77.8	12
	優秀賞	幹壺最高	H黒-178	幹壺	藤桜	平茂勝	去勢	石狩市浜益区 寺山 広司	28.3	A5	537	68	10.2	3.3	75.4	11
	優良賞	賢桜	H黒-187	勝早桜5	第6栄	茂重桜	去勢	本別町 北海道立農業大学校	29.5	A5	545	74	8.6	1.5	76.7	10
	優良賞	はやさくら	H黒-187	勝早桜5	北仁	菊安(事業団)	雌	幕別町忠類 蛸原 一治	30.7	A5	376	64	7.0	2.3	75.7	8

部門別枝肉成績表

【一般牛の部】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留まり基準値(%)	BMS No.	BCS No.	上物率
去勢	49	28.2	469.4	60.3	7.6	2.2	74.5	6.3	3.9	71.4%
雌	22	29.8	404.9	61.7	7.6	2.4	75.2	5.9	4.1	54.5%
全体	71	29.0	449.4	60.7	7.6	2.3	74.7	6.2	3.9	66.2%

【現場後代検定牛の部】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留まり基準値(%)	BMS No.	BCS No.	上物率
去勢	21	28.8	480.8	61.7	8.0	2.1	74.8	6.2	3.9	52.4%
雌	20	29.3	443.0	59.9	8.3	3.1	74.4	5.6	4.0	35.0%
全体	41	29.0	462.3	60.8	8.1	2.6	74.6	5.9	3.9	43.9%

【全体】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留まり基準値(%)	BMS No.	BCS No.	上物率
去勢	70	28.7	472.9	60.7	7.7	2.2	74.6	6.3	3.9	65.7%
雌	42	29.5	423.0	60.9	7.9	2.8	74.8	5.7	4.0	45.2%
全体	112	29.0	454.2	60.8	7.8	2.4	74.7	6.1	3.9	58.0%

平成24年度(第33回)家畜(牛)体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

平成24年8月22日から9月8日の間、清水町農業研修会館において実施した「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

石黒 尚人	井上 典子	齋藤 隆允	佐野 綾音	瀧本 淳徳	寺澤 エマ	八田 秀司	吉田 麻衣
石田 理恵	大山 靖正	佐藤 寿一	高橋臣太郎	武田 学	長沼由香里	森岡 薫	米谷 暢将
稲葉 泰志	加藤 雅人	佐藤 太紀	滝本 一誠	鎮守 貞嘉	南條 正貴	柳原美智子	渡部 周平

JB-3「福富」を偲んで…

猛烈な残暑が続いていた8月下旬、当団の代表種雄牛で高齢の「福富」が暑さで食欲を失い起立不能になりました。数日後、二度と立ち上がることなく日々世話をしてくれたスタッフ達が見守る中、静かに息を引き取りました。今まで国産種雄牛の中最も長寿の牛と言われ、享年23歳5ヶ月でした。

本牛は、平成元年3月26日に兵庫県浜坂町の宮脇盛幸牧場で生まれました。父は兵庫県が生んだ昭和の最高傑作種雄牛と言われる「安谷土井」です。母「ゆきひめ2」の父は「菊照土井」で、名牛「おおみぞ」の娘、「みつふく」の孫娘であり、父系母系とも超一流のエリート牛です。翌平成2年6月に、当時の(株)ジャパンホルスタインブリーディングサービス社が兵庫県の種雄牛セールで育成農家である井上三千男氏より本牛を購入しました。その後、F1の生産を中心に北海道はもとより全国で利用され、受胎率もよく好評でした。平成10年5月に大宮食肉市場で開催された枝肉共

励会において、栃木県より出品された雌の産仔がチャンピオン賞に輝くなど、好成績を残しました。

(社)ジェネティクス北海道となった後もさらに活躍し、年間7万7千本の売り上げ記録を残しました。平成21年8月に種雄牛としては引退しましたが、生涯販売本数は66万本を超え、特にF1市場に大いに貢献しました。

20数年間ずっと管理したスタッフの話では、生前の福富は1度しか獣医にかかったことがなく、とにかく健康な牛でした。人間に対しては大人しく管理し易い牛ですが、他の牛(ホルスタイン)に対しては攻撃的な性格でした。5~6年前から歯が悪くなり、長いままの牧草は食べられなくなったので、切り草を与えていました。7月初め頃までは元気で、「この夏を乗り越えれば、もうひと冬を越せるかもしれない」と期待していましたが、やはり今年の猛暑には勝てませんでした。長い間ご愛顧いただきありがとうございました。

JB-3 FUKUTOMI



10歳時のJB-3「福富」



23歳の福富(上2枚)